
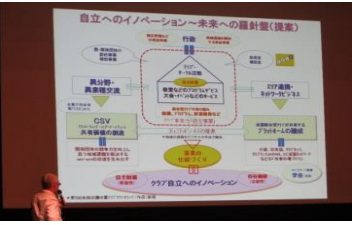




総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【5月号】

会議名	全国スポーツクラブ会議 in出雲	訪問日	5月16日 17日	出席者	宮田 大樹 中村 香織
内容詳細	<p>出雲市にて第9回全国スポーツクラブ会議が450名参加のもと開催されました。今回のテーマは、『八百万の「クラブ物語」 自立へのイノベーション』と題して、2015年4月で満20歳となる総合型クラブが、「スポーツによる地域づくり」を基軸に具体的なテーマ（組織、プログラム、財源確保）に沿って、議論を深めました。発表者が、共通して言われていたのが、「地域の皆さんに『クラブが地域にとって欠かせない存在である』と思ってもらえるようになる」ことでした。地域から信頼され必要とされることが、結局は会員や財源の確保、認知度の向上につながるということです。そのためには、日頃から地域の皆さんとのコミュニケーションを大切に、「地域の課題は何か」「困っていることはないか」を考えることが重要です。クラブが地域への関わりを増やし、貢献していくことがカギになると感じました。</p>		 		

会議名	平成27年度第1回クラブ アドバイザーミーティング	訪問日	5月19日 20日	出席者	近藤 優子 岡村 睦美
内容詳細	<p>各県のクラブアドバイザー、都道府県担当者などが参加のもと、平成27年度第1回クラブアドバイザーミーティングが日本体育協会で開催されました。今回は講演、グループワーク共にスポーツボランティアに関する内容でした。皆さんのクラブでイベント等を行う際にスタッフが足りないなどということはありませんか？その際にボランティアを活用してみたいか？ボランティアを活用することで、さらに魅力のあるイベントを開催できる、経費の削減、クラブの周知等にも繋がると思えます。ボランティアを活用する際には、ボランティアについての理解を深めたうえで、なぜボランティアが必要なのか、具体的にどのような活動をしてもらいたいのかなどクラブ全体で意味や目的を共有しておくことが大切です。また、これらをボランティアにしっかり伝えることも重要となります。</p> <p>山口県では、ボランティアの登録を市町で管理しています。活用を検討する際には、各市町の担当課に相談してみてくださいね。</p>				



☆レッツ！オリ・パラ☆

アスリートが強くなるための大原則は「トレーニング」「栄養」「休養」。この3つのレベルアップが競技者として必要不可欠となります。

日本には上記3つの要素を含むオリンピック競技のレベルアップ等を目的として作られた施設があります。東京都北区にある国立スポーツ科学センター（JISS）と隣に併設されている味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）です。主にJISSではスポーツ科学・医学・情報など最先端の研究を最新の施設・機材を活用し、各分野の研究者が連携し合って国際競技力向上のための支援を行っています。そしてNTCでは屋内外のトレーニング場・テニスコートに加えアスリートヴィレッジ（宿泊施設）を完備しています。

あるオリンピック選手が「JISSは自身に足りなかったものを埋めてくれた場所」という言葉を残しています。

日本そして世界を魅了するトップアスリートのパフォーマンスをしっかり支えているJISSは、これからもオリンピック選手と一緒に戦ってくれる強い味方であることは間違いありません。

2020年
東京オリンピックまで
1884日
※平成27年5月28日現在